

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行: 野川台自治会
 発行者: 野川台自治会長
 川崎市宮前区野川
 TEL.
 協力: 西野川小学校 P T A
 野川中学校 P T A
 編集: あいさつ・防犯運動事務局



学校と地域とのさらなる連携をめざして



今回は、多くの子弟がお世話になった西野川小学校の創立30周年を迎え、記念事業等を通じて、学校と地域の係わりや地域の中で育つ子どもの大切さにも触れてみました。

人と人が向き合って～あいさつ運動、地域とともに～

西野川小学校長 榎本 重次

西野川小学校は、今年、創立30周年を迎えます。これも日々、地域の方等の暖かいご支援の賜物と感謝しています。月に2回、こんな風景が見られます。

青色の光が、ピカッ、ピカッと校門横で光ります。野川台自治会の青色回転灯車です。青色回転灯とともに地域の方々も学校の正面に集合してくれます。

青色回転灯の光る日は、西野川小学校のP T A役員の方々も校門に来てくれます。子どもたちも集まってきます。そして登校してくる子どもたちに、地域の方々とP T Aの方々、そして当番の子どもたちみんなで「おはよう」の声をかけます。登校してくる子どもたちも「おはようございます」とあいさつをします。

本校の子どもたちの「町の人とあいさつをかわしたい」という提案を学校教育推進会議で真摯に受け止めていただき、あいさつ運動は、地域・保護者の皆様ともに実施してきました。

あいさつ運動を通じて、ひとり一人の心が、ぽっと温かくなったらうれしいですね。

「おはよう」とあいさつをして

野川中学校長 今井 勇

朝、校門に立ってあいさつをしていると、中学生だけではなく、小学生や通勤・散歩の途中の地域の方と気楽に会話ができてホッとすることがあります。

ある朝の小学生との会話を紹介させていただきます。「カブトムシ採ったの？すごいね、どこで採ったの？」、「教えない、秘密だもん！」とか、「何年生ですか」、「6年生です」、「来年待っているからね」、「はい！」、「早くおいで・・・」。

あいさつを始めてから1年ほど経ちましたが、小学生からあいさつをしてくれることも多く、友達が増えたよう



ふれあい！

な気がして朝から楽しい気分になります。

小学生と中学生にあいさつすることができ、返ってくるあいさつの変化から子ども達の成長過程を垣間見ることができます。地域の中で育つ子ども達が、地域の文化と伝統を引き継ぎ、健やかに成長していけるように見守っていきたいと思います。

来年は当中学校も創立30周年を迎えます。



朝のあいさつ運動

あいさつのもつ隠された力

野川台自治会長 津田 知充

あいさつの輪の3号目の発行に際して、私は「あいさつ」に因んだ話をしたいと思います。私はかつて下町と言われる地域の学校に訪問することが多かったのです。ある中学校に行った時のことです。玄関から廊下に足を踏み入れた時に、元気な男子とぶつかりそうになりました。その瞬間、私の心の中では、なんてひどい学校なんだろうと思いました。しかし、その元気な男の子は、笑顔で「すみません。こんにちは！」と言ってその場から去りました。その時の男の子の表情がとても印象的でした。その途端、私の心の中は一変したのです。早くこの気持ちを校長先生に伝えたいと急ぎました。あいさつのもつ隠された力を実感した思い出です。最後に、野川中学の頑張っている姿が、部活動から伝わってきます。勉強も頑張っていると思います。小学生の目に、この姿がどう映っているのか知りたいと思う今日この頃です。



夢・希望 みんなでつくる西野川

子どもを育む 地域の輪」づくり



創立30周年と地域の輪

創立30周年記念事業実行委員長 西原 祥雅

サッカーで得点した思い出です。味方がタッチライン際をドリブルで上がる。目と目が合う。キックの動作に入る瞬間「彼はあそこに上げる！」とを感じる。確信して走りこむ。来た！打った！ゴール！！

偶然ではなく、繰り返しの練習による意思疎通と試合で積み重ねた信頼感によるものですが、心が通じ合うと思ってもよらない素晴らしい攻めが出来るものです。

私たちの住む野川はどんな町ですか？

子どもたちが生まれた町、育った町、先祖代々住み続けている町、最近越してきた町など、様々な環境で色々な思いがあるでしょう。でもこの野川を明るく、楽しい、心の故郷にしたいですね。そのためには、皆がよく知りあい、思いを口に出し、おせっかいが自然にできる「地域の輪」をつくるのが大切だと思っています。創立30周年事業としては「30年の振り返りと感謝・現在の確認・未来への希望と決意」をベースとして、さまざまなイベントを実施しています。多くの触れ合いと、思いを共有することで、「あいさつ運動」と共に、皆でコミュニケーションを図り、地域で子どもたちを育む「地域の輪」づくりにつなげていきたいと思っています。

◆学校と地域の協力でよみがえった「せせらぎ池」！

「いや！へドロがすごいな！」と言いながら、残暑厳しい9月上旬、西野川小学校の正門から左側にある玄関への通路沿い約30メートルの「せせらぎ池」の整備を創立30周年記念事業のひとつとして、学校と地域が取り組みました。校長先生を始めとする教職員、PTA、おやじの会、そして子どもたちも参加し総勢40名近くの人達です。思い思いにあいさつを交わし、汗水流しながら、池の泥のかき出し、雑草取り、植え込



よみがえった「せせらぎ池」

みの剪定。最後に、やご、カワニナ、ふな、どじょうなどを再び池に戻してやりました。

せせらぎ池は、初代の正木校長の熱意のもとで、学校と地域の人の手により、創立2年目の昭和57年夏に造られたものです。土手の湧水を上手に生かし、“流れる水と石と竹・松”、そして今は舗装されていますが通路に玉砂利を配した風情のある庭園調で、他の学校では見られないユニークなものと言われていました。蘇った池の水の流れる音は、また日々、子どもたちに安らぎを与えています。



こどもとパトロール隊員

◆子どもたちとの出会いとつながり

3年前のことです。新しいランドセルを背負った1年生が道で立ち止まっている！なにか様子がおかしいので近づいてみると、犬の糞を踏んでしまい学校に行けなと、しくしくと泣いているのです！本当に胸の痛む光景でした。

翌日から、児童の登校前に散歩方々道路の糞をひとつひとつ拾い始めました。そんな縁で小学校とのつながりができ、こどもたちも総合学習のインタビューに來たり、家に遊びに来るようになりました。遊びに来る時には、必ず2名以上で4時までには訪ねるきまりをみんなでつくり、庭のパラソルの基で、時には英語をまじえたビンゴゲームなどを、それも上の子が下の子に教えたり、思いやりたりして遊んでいます。その様子はかつて自分が世界をフライトしていた時にアメリカの街でよく見られた心暖まる光景と同じです。

雨の日も風の日も“8・3あいさつ運動”をしていますが、最近はこどもから率先して元気よくあいさつしてくれる場面が多くなり、なんとなく1日が嬉しくなります。

(地域の人 狩谷泰久談)

「西野川小学校創立30周年記念事業」主な記念事業

- 学校の整備 せせらぎ池・自然の坂道・ウッドデッキ・他)
- タイムカプセル ○副読本作成 ○記念誌作成
- 創立30周年記念式典・祝賀会(平成21年12月5日)



あいさつは心と心のキャッチボール

笑顔をつくる魔法の言葉



あいさつをして変わったこと

西野川小学校6年 宮川 悠希

私があいさつで大切だと思うことは「笑顔で・明るく」です。

6年生になってすぐ6年1組は少し暗い教室でした。5月ごろ先生が「教室に入ったら明るく元気におはようを言おう」と言いました。最初はなれなくて変な感じだったけど、だんだんあいさつが普通になって、みんなが笑顔になり、明るくなりました。町のひとにもあいさつをするようになって、「おはよう」や「さようなら」を言うと町の人みんなが元気に笑顔であいさつを返してくれました。私はこれからもあいさつを続け、友達や先生や町の人たちにあいさつをしたいです。そしてたくさんの人に笑顔を届けたいです。

あいさつ運動でみんなが気付いたこと

野川中学校生徒会副会長 岩崎 賢太

野川中学校では、毎週月曜日は生徒会本部とサミットを中心に、また火曜日から金曜日は週番であいさつ運動を行い、生徒は、1年間で1回は立ちます。

私は、月曜日のあいさつ運動に約2年間参加しています。その中で私はある事に気付いたのです。それは、「あいさつは、する側もされる側も気持ちが明るくなる」ということです。朝、門の近くに立って、学校に来る生徒や先生にあいさつをする。たったこれだけの事ですが、大きな声であいさつをすれば、する側の気分も晴れ、あいさつを返せばされる側も気分が晴れ、結果、お互い気持ちの良い朝を迎えられます。あいさつは重要です。そのことに気付かせてくれたのは、あいさつ運動でした。2年間参加して本当に良かったです。

◆200世帯に貼られた小中学生の標語シール

自治会はあいさつ運動の標語をシール化し、家庭、マンション、公園、薬局、コンビニ、福祉施設等への掲示の協力を頂きました。戸建住宅地域では、全体の1/3の200余りの世帯でポスト等に貼っていただきました。貼られたシールは、あいさつを通じ、子どもの笑顔と健やかな成長を促し、併せて近隣のつながりの強さを示すことから犯罪の防止にも役立ちます。



朝のあいさつ運動

◆今年も標語づくりにチャレンジ！

西野川小学校では、新入生を迎える4月に生活目標として「気持ちよいあいさつをしましょう！」を掲げています。そのひとつに、知らず知らずのうちにあいさつができるように「標語づくり」を今年も全クラスで実施。そのいくつかのクラス作品介绍します。

- あいさつは、友達からのプレゼント
- あいさつは、笑顔をつくる魔法の言葉
- みんなであいさつ、野川を元気に

多分他の学校ではあまり見られないすばらしい取り組みで、朝のあいさつ運動にも表れていると感じています。地域の人、子どもたちに道で会ったら積極的に声を掛けたり、朝の校門でのあいさつ運動に参加してみませんか。第1と第3の火曜日の朝8時からです。きっと、子どもたちから元気をもらえますよ！

三位一体になって魔法力の強化を！

西野川小学校PTA会長 佐竹 隆治

何気なく交わす「あいさつ」・・・そんな当たり前のコミュニケーションが人と人の繋がりを変えます。「あいさつ運動」に参加して3か月を経たある日、数人の児童が「今日は！これどうやるんですか？」と気軽に話し掛けて来ました。今日も、この間の児童が「またいた！」と笑顔で走って行きました。そんな些細なことが絆を深め、地域をひとつにすると考えます。そしてそんな「あいさつ」を交すうちに、地域の方から見守られているという意識が芽生え、素晴らしい地域として心の故郷として残っていくことでしょう。人と人との「あいさつ」が心と心の魔法を架けてくれるのです。そして学校・地域・保護者と一体になることが、さらに魔法力を強めるのです。そしてそのことは、防犯やまちづくりに繋がると信じています。皆さんの無理のない形での運動への参加を期待しています。

お知らせ

野川台自治会が実施しています「あいさつ運動」、「防犯パトロール活動」、広報活動等が安心な街づくりに貢献しているとのこと、この9月に県防犯協会連合会・県警察本部長から感謝状を頂きました。

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

わぁ！飛んだ ぼくのロケットが！

夏休み前の土曜日、西野川小学校の校庭にこだました児童の声・声・声…です。30名を超える親子が体育館に集まり、おやじの会のメンバーの指導の基に、悪戦苦闘しながらも、いらなくなったペットボトルでロケットを造りあげ、飛ばした時の光景です。



頑張るお父さん

丁度その頃、スペースシャトル・エンデバー宇宙飛行士若田光一さんが宇宙に滞在していた時でタイムリーな企画で盛り上がっていました。

子どもたちは、「ロケットが50mも先の体育館の屋根まで飛んでくれて本当に嬉しかった！」と目を輝かし、お父さん達も「今まであまり子どもと何かを作ったことがないので、うまく飛んでくれて、正直なところほっとしたよ！」といった声が聞かれました。

(おやじの会の会長は、荻原健一氏)

柔道部 男女とも団体・個人戦で善戦！

雲子アリーナで開催された県中学校体育大会で、野川中の女子は、健闘したものの残念ながら1回戦で惜敗しましたが、市場中学と対戦した男子団体は、先鋒、次鋒とも引分けた後、中堅と副将がそれぞれあざやかな背負い投げで1本勝ちをし、勝利をもたらしました。小柄な選手が、大きな相手を投げ飛ばすことは、柔道の醍醐味ですが、その裏にはひとつの技を徹底的に練習し、自信を持って試合に臨んだ結果と言えます。2回戦は、優勝候補と噂の高い東海大相模中学で大柄な選手を相手に健闘空しく敗れたものの、日頃から巨漢の先生と段取りをしているので、気持ちには負けてなく堂々として見ていた者にとって気持ちのよい試合でした。

(顧問は、尾立、新村、大石、菊池の各先生)



仲間

楽器35名編成で、モンゴルの覇者チンギスハーンを描いた「ジンギスカン序曲」にチャレンジし、重厚でスケール感のある演奏で多くの人を魅了しました。

現在70名の部員を擁していますが、毎年4月に入部してくる生徒は、楽器に親しんでいる生徒と初めて触れる生徒とのいわゆる混成部隊。この力量の差を先生はもとより3年生が中心となって練習の中で、音合わせの苦しみや喜びを味わいながら、時には近所に配慮し教室を閉め切り、汗を流しながら素晴らしい作品を創造。今年は、去年の銅賞を越え、もう一步で金賞というレベルに近づき、達成感と次の活力の源になったことが伺えました。

(顧問は、清水先生、鈴木先生)



練習の1コマ

ハンドボール部県大会5位と健闘！

豪快なジャンプシュートは、ハンドボールの醍醐味。野川中学校ハンドボール部は、昨年、県大会1回戦で敗退しましたが、今年は区大会、市大会を各1位で突破し県大会に臨みました。

県大会出場校16校。初戦は14:9で快勝し、2回戦に駒を進めました。次の相手は、結果として今大会の優勝校の大野南中学。ディフェンスとオフェンスを分けずに防御から攻撃への切り替えを素早くし、善戦したものの16:13の僅差で敗れましたが県大会5位と健闘しました。ここまで勝ち進んでこられたのは、部長の統率力や判断力はもとより、各選手のスピーディーさとチームワークの良さに負うところが大きいと言えます。

(顧問は、多田、中川、山川の各先生)



シュートの醍醐味

編集後記

野川台自治会のあいさつ運動は、始めてからまる2年になりました。また同じ野川地域の町内会・自治会、民生・児童委員もそれぞれのやり方で野川、南野川、西野川の各小学校と野川中学校の朝のあいさつ運動に参加しています。そんな中で、今般、当広報紙の発行に際し、野川町内会、野川西団地自治会、野川南台団地自治会、宮前第1地区社協、地区民児協の協賛を頂きました。微力ながらこれからも一緒に、あいさつ運動の拡がりに努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いします。なお、宮前区社協から福祉の風土づくりの面から「平成21年度福祉団体体育成支援金」の交付を頂きました。(原、辻本、鈴木)

スケール感あふれる「ジンギスカン序曲」で銀賞

市内の中学校39校が参加した市吹奏楽コンクールで、野川中吹奏楽部は、銀賞を獲得。木管、金管、打